

3月7日大阪日口協会総会と講演会

長年会を率いてこられた藤本和貴夫先生の遺志を継ぎ、京都外国語大学の五十嵐徳子先生が新たに理事長に就任された。

大阪日口協会は今年で50年を迎えるなかで、今後もロシアによるウクライナ侵攻の即時の停戦と草の根市民交流による平和を求めて行きます。

講演会では、

「ウクライナ動乱」の著者、松里公孝先生をお迎えし旧ソ連の分離紛争の歴史からこの問題を読み解く必要。

ロシア側がNATOの東方拡大に危機感を募らせていた歴史的経過、バイデン大統領の対応で侵攻は防げた可能性など重要な指摘をいただきました。

